

Zゲージ向けペーパーキット カラー硬質紙をレーザー加工 塗装不要

扇形機関庫外壁基本キット



完成例



組立例



組立に必要なもの
・ペンシル
・接着剤
・カッター
・ピンセット
(木工ボンドと爪楊枝)



ご注意ください

・対象年齢15歳以上の子供向け商品です。
・目や口の中に入らないでください。
・付属品は必ず「付属品」の取扱い説明書に従って安全にご使用ください。
・本製品は必ず「付属品」の取扱い説明書に従って安全にご使用ください。
・無き場合は必ず「付属品」の取扱い説明書に従って安全にご使用ください。

0055
4400

当商品は株式会社トイテック ロクハン事業部 品番 S038
扇形機関庫の外壁パネルと置き換えるキットです。
別途 **S038扇形機関庫が2個必要**となります。

基本的には、接合面にボンドを塗布して差込む、もしくは
凹凸を合わせ接着するので、精度よく組み立てができます。

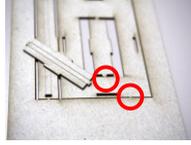
0055

ロクハン承認済



～ご用意ください～

- ・デザインナイフ
- ・クラフトボンド
(木工ボンドと爪楊枝)
- ・ピンセット
- ・カッターマット

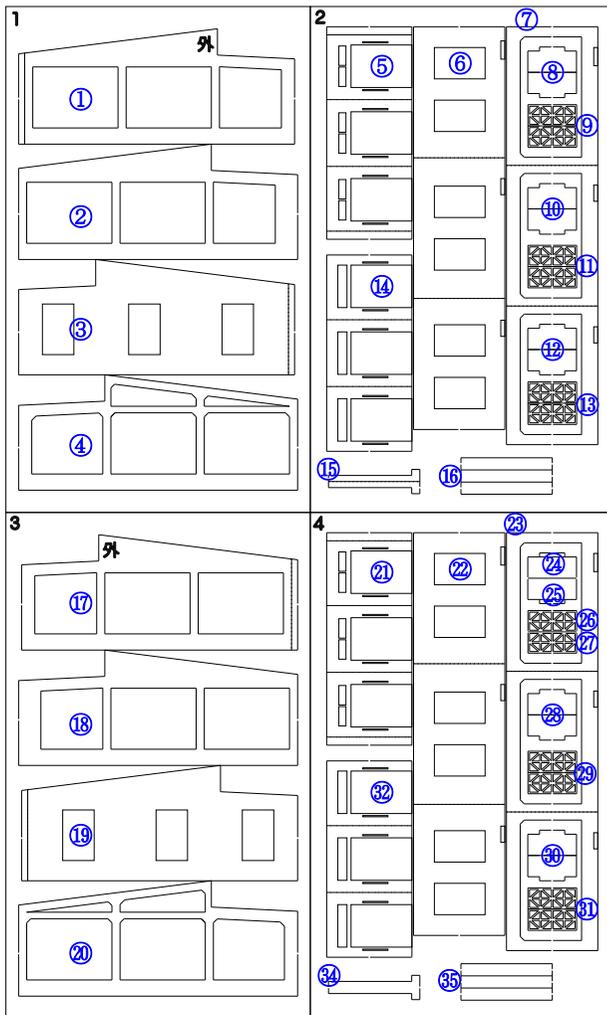


部品は、写真赤丸の様に、
数カ所で留まっています。
光に透かしますと、分かり
易いです。

組立前に必ずお読みください

- ・部品はデザインナイフ等で丁寧に切り離してください。
- ・接着は（木工ボンドを爪楊枝で）接合面に載せる様に塗布します。
このとき、ボンドの水分で紙が柔らかくなり差込みづらくなるのを防ぐ為、
なるべく凹部分に塗布するようにします（凸部分を避けて塗布します）。
- ・接着した部品を剥がすのは困難です。説明書を参考に全体の流れを理解した上で
慎重に接着していくようにしましょう。

部品番号表



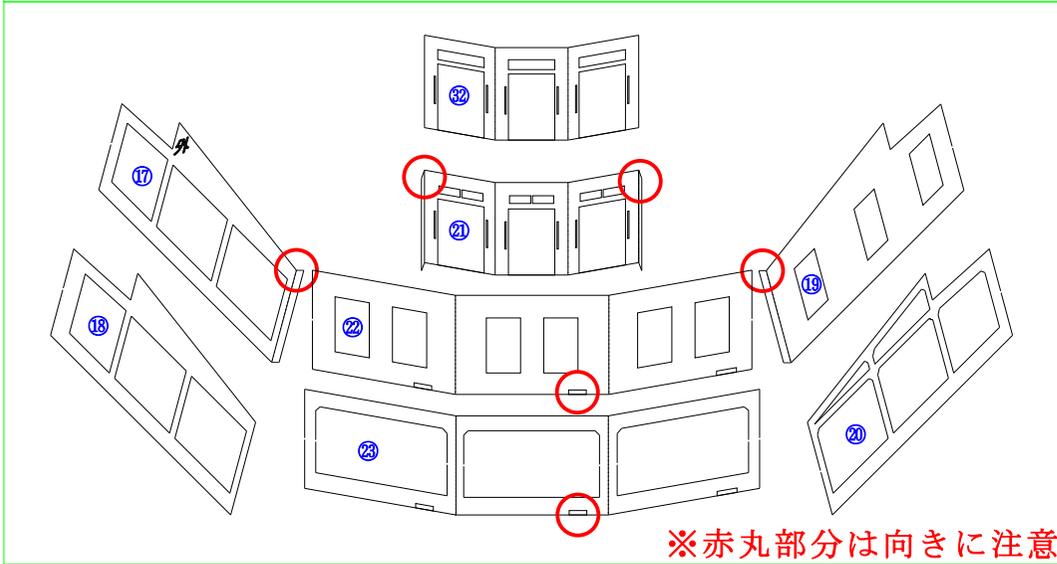
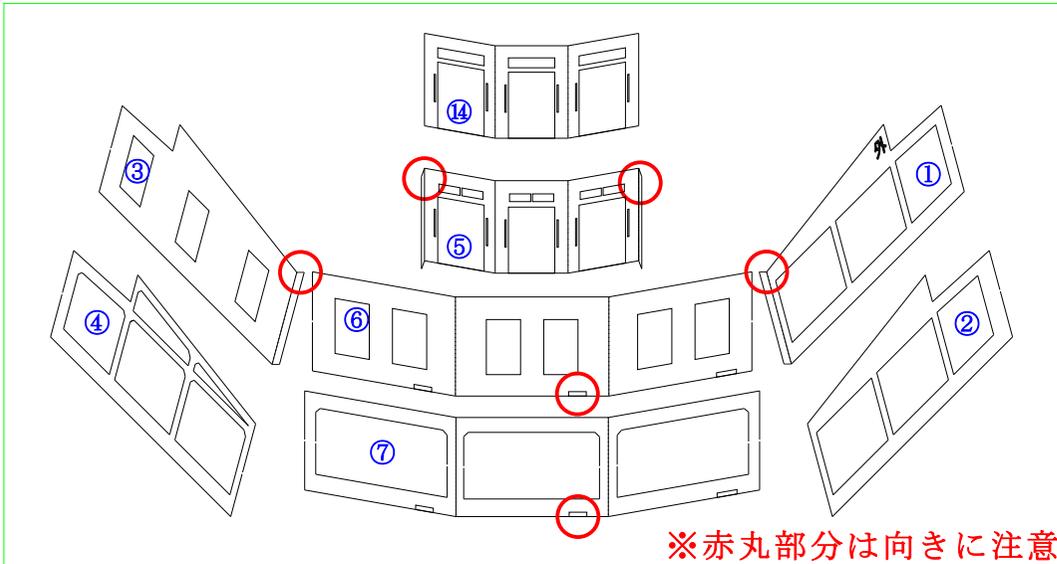
アドバンスペーパーキットについて

- ・カラー硬質紙をレーザーカットしており、加工時に切断面に焦げや煤が付着します。
- ・焦げ・煤が原因で指が汚れたり、焦げ臭い場合もありますが予めご了承ください。
- ・未切断や抜け残しがありましたらデザインナイフ等で取り除いてください。

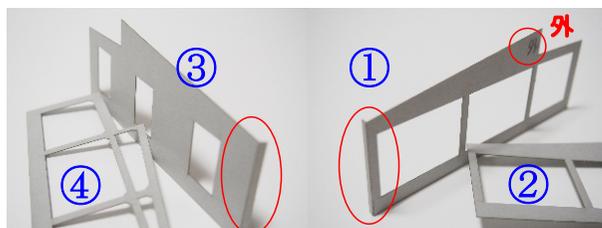
組立説明書

組立に難しい部分はありませんが**左右と表裏を間違え易い**です。
主要部品の相関図を参考に、まずは接着しないで仮組をしてイメージを膨らませてからの組立をお勧めいたします。

主要部品の相関図

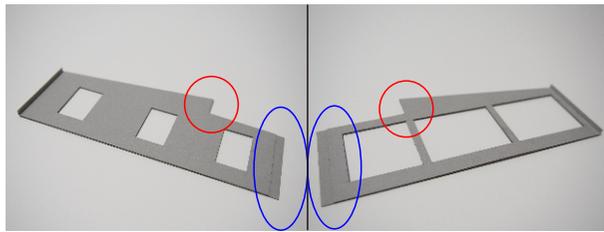


1. 部品①と③を写真を参考に、それぞれ1カ所を折り曲げます。



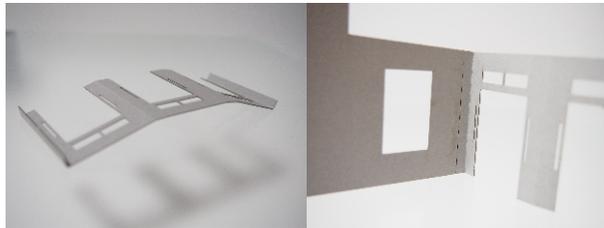
2. 続いて②を①に、④を③に重ねて接着します。
※重ねる順番にご注意

写真**青丸部分**は重なりませんので**赤丸部分**で位置合わせをします。



3. 部品⑤を写真を参考に折り曲げます。

「2.」で貼り合せた部品と接着します。

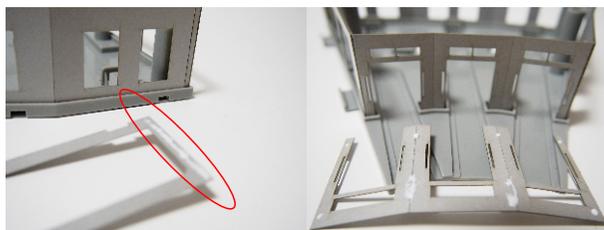


4. 部品⑥を軽く曲げて「2.」で接着した部品にテープで仮止めます。
※写真赤丸部分、部品⑥の凹の向きに注意
 この段階で**ロクハン製の土台に仮設置をしないことを確認**します。



5. 部品⑦を⑥に接着します。
 部品⑭を⑤に接着します。

ロクハン製の土台に本体を**仮設置した状態**で接着してください。
 ボンドは**少量を点で接着する程度**で十分です。



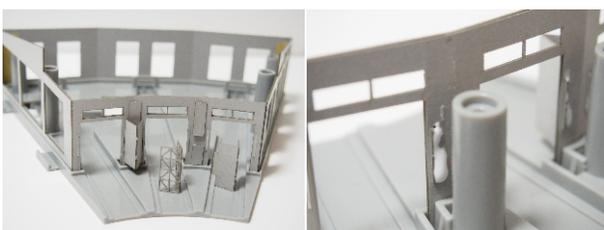
6. 柱を表現する部品⑩を接着します。

写真を参考に⑩を切断し、屋根を仮置きして隙間が出ない位置に接着していきます（真ん中部分は扉で見えなくなります）。



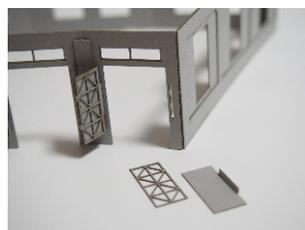
7. 扉を組立てます。

部品⑧⑩⑫、⑨⑪⑬は同じ部品です。
 3組製作し、そのうち2組を使用します。
 ⑧は折曲げて差込みます。ボンドは裏側から盛る様にすると簡単です。
 ⑨も折り曲げて接着します。

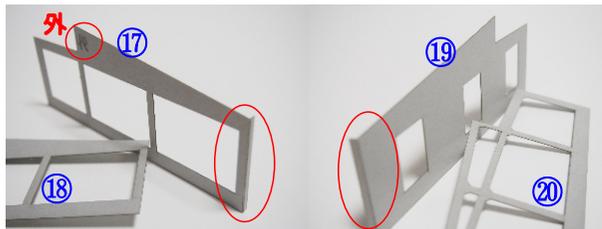


続いて外壁側の扉⑭⑮を写真を参考に接着します。

この後は扇形機関庫の説明書通りに窓と屋根、煙突を取付けます。
 これで扇形機関庫の半が完成です。

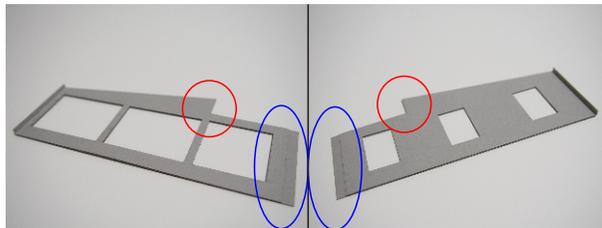


8. 部品⑰と⑲を写真を参考にして、それぞれ1カ所を折り曲げます。



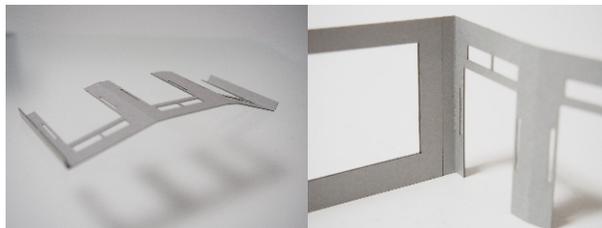
9. 続いて⑱を⑰に、⑳を⑲に重ねて接着します。
※重ねる順番にご注意

写真青丸部分は重なりませんので赤丸部分で位置合わせをします。



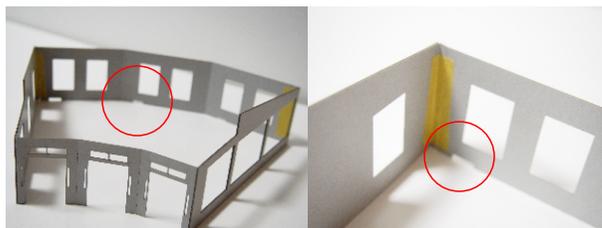
10. 部品㉑を写真を参考に折り曲げます。

「9.」で貼り合せた部品と接着します。



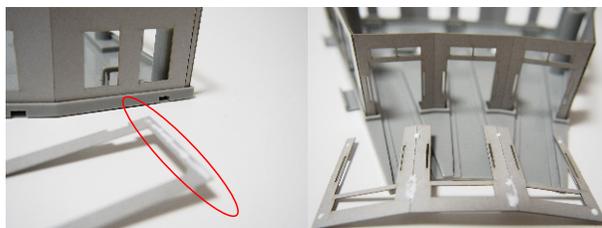
11. 部品㉒を軽く曲げて「9.」で接着した部品にテープで仮止めします。
※写真赤丸部分、部品㉒の凹の向きに注意

この段階でロクハン製の土台に仮設置をして問題ないことを確認します。



12. 部品㉓を㉒に接着します。部品㉔を㉑に接着します。

ロクハン製の土台に本体を仮設置した状態で接着してください。ボンドは少量を点で接着する程度で十分です。



13. 柱を表現する部品㉕を接着します。写真を参考に㉕を切断し、屋根を仮置きして隙間が出ない位置に接着します。



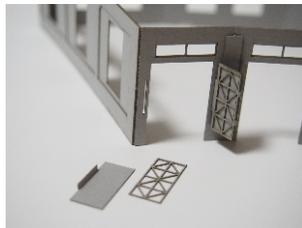
14. 扉を組立てます。

部品㉘㉙、㉚㉛は同じ部品です。㉘㉙は折り曲げて差込みます。ボンドは裏側から盛る様にすると簡単です。㉚㉛も折曲げ接着します。



15. つついて外壁側の扉②⑦を写真を参考に接着します。

この後は扇形機関庫の説明書通りに窓と屋根、煙突を取付けます。
これで扇形機関庫の半分が完成です。



接続方法について

弊社品番0056扇形機関庫増結キットをご使用頂きますと3線単位で増築することができます。
増結キットは、基本キットのユニット間に挟み込んで増築していきます。
増結予定の場合は部品⑮⑳、扉は接着しないでください。

お座敷運転等で一棟ごとに収納する場合は「7.」で製作した扉を使用時に差込んでご利用ください。
部品⑮⑳、扉は接着しないでください。

～恒久的に固定する場合～

部品⑮⑳を使用して**6線庫としてご利用される場合は、最初にロクハン製土台同士をボンドで固定**します。

接合部分の裏側は部品⑮を軽く曲げて現物合わせで長さを調節して貼り付けます。

正面扉側は部品㉔を現物合わせで長さを調節して貼り付けます。最後に「7.」で製作した扉を差込み裏からボンドで留めれば完成です。

